



研究部会報告

● 防衛と安全 ●

第30回

日時：平成23年3月25日(金) 16:00~18:00

出席者：13名

場所：政策研究大学院大学 研究会室4A

テーマ、講師及び概要

「山岳気象に関する天気予報技術の有効性」

松田 靖 (株)メテオテック・ラボ)

山岳での天気予報の一般的特性を説明した後に、大雪山系で遭難事案が発生した際の気象状況とその際の予報状況について解説した。さらにアジアの高山岳域で地球温暖化により頻発している氷河湖決壊の予測方法や対策について説明した。現状では天気予報にはORがあまり利用されていないが、潜在的に活用できる領域は多々ある。

● 政治と社会と行政のOR・日本応用数学会数理政治学研究部会 合同研究会 ●

第7回

日時：平成22年12月22日(水) 15:00~18:15

出席者：12名

場所：政策研究大学院大学4階 研究会室4F

テーマ、講師及び概要

(1)「政治科学におけるメディアの内容分析研究」

稲増一憲 (武蔵大学)

メディアの内容分析は古くから用いられてきた研究手法だが、データベースの整備、専用ソフトの充実とともに、近年新たな広がりを見せている。発表では、政治科学分野におけるメディアの内容分析の現状を整理され、今後の展開についての考察がなされた。

(2)「議席配分のための新5方式とそれらの偏りについて」

一森哲男 (大阪工業大学)

歴史的5方式は除数方式であるが、アダムズ、ジェファソン、ディーン方式は緩和比例方式ではない。これらの代わりに、新たに3方式を組み入れた新5方式が提示された。議席数はある意味において人口に比例

するが、最も比例に近い方式についての考察がなされた。

● 待ち行列 ●

第226回

日時：平成23年4月16日(土) 14:00~17:00

出席者：25名

場所：京都大学 東京オフィス 品川インターシティ A棟27階

テーマ、講師及び概要

(1)「途中退去のある待ち行列モデルの近似解析」

河西憲一 (群馬大学)

本講演では、サービス前の途中退去がある待ち行列について報告がなされた。報告は主として、途中退去時間が独立で同一な確率分布に従うモデルに関するものであり、定常分布が厳密に導出できるモデルについての分析と、コールセンターへの応用を意識した近似解析結果が示された。

(2)「裾確率の漸近的減少と Laplace-Stieltjes 変換の特異点について」

中川健治 (長岡技術科学大学)

確率分布関数のLS変換の特異点と、裾確率の漸近特性との関係を解明することは、パケット廃棄確率や待ち時間の裾確率を理論的に評価する上で重要である。本講演では、複素 Tauber 型定理を適用することで、LS変換の特異点に関する情報から、裾確率の漸近的減少速度を導く手法が紹介された。

● 不確実性環境下での意思決定科学 ●

第1回

日時：平成23年4月23日(土) 14:00~17:00

出席者：20名

場所：大阪大学豊中キャンパス 文法経本館 多目的室

テーマ、講師及び概要

(1)「税と補助金を考慮したレプリケータダイナミクスとそのネットワーク制御への応用」

金澤尚史 (大阪大学)

プレイヤーが利己的に行動することで、集団全体として望ましくない状態に陥ってしまう場合がある。本講演では、政府が税と補助金を用いて集団を望ましい状態に導こうとする状況の進化ゲームモデルである税と補助金を考慮したレプリケータダイナミクスを紹介

し、そのネットワークの経路制御への応用について紹介する。

(2)「多目的進化計算に基づくリカレントニューラルネットワークの学習と構造の同時最適化アルゴリズム」
片桐英樹（広島大学）

本発表では、不確実性を伴う時系列データに対して

高精度な予測を行うニューラルネットワークを構築するために、学習誤差と構造の複雑さを同時に最適化する多目的進化計算に基づくアルゴリズムを提案する。また、8つの時系列ベンチマーク問題に対して従来手法との比較を行った実験結果についても紹介する。

第7回理事会議題 (23-4-11)

平成22年度第6回理事会議事録の件

平成22年度臨時総会議事録の件

入退会承認の件

定款改定の件

事務局の件

平成23年度通常総会議案の件

支部決算の件

会合記録

4月4日(月)	庶務幹事会	10名
4月6日(水)	機関誌編集委員会	12名
4月7日(木)	表彰委員会	8名
4月11日(月)	理事会	16名
